平成15年度予算概算要求の考え方

別紙２

重点外交課題の推進（1,167億円）

１．安定した我が国周辺環境の構築（１３７億円）
- 韓国、中国、ロシアとの関係強化・促進
- 朝鮮半島情勢への対応
- アジア太平洋地域におけるコミュニティ形成

２．国際社会全体の平和と繁栄の実現（９７８億円）
- グローバルな安全保障問題への対処
- 地域紛争への対処
- 人間の安全保障への取り組み（TICADIII等）

３．外交的枠組みの強化（５２億円）
- 日米関係、日欧関係の維持・強化
- 国連等マルチの枠組みの強化
- 多角的自由貿易体制の維持・強化
- ＦＴＡ、経済連携の推進

ＯＤＡの活用

無償資金協力
（総額２，８１６億円）
技術協力（ＪＩＣＡ）
（総額１，８５８億円）
国際機関
（総額７２４億円）

幅広い人材の活用

- 文化・人的交流の促進
（総額４１１億円）
- 国際貢献におけるＮＧＯのより広範な参加
（総額６６億円）

外務省改革（471億円）

ＯＤＡ改革
（戦略性、透明性・効率性の向上）　（６９億円）
（国民参加のＯＤＡ実施）
（５３億円）

ＮＧＯとの関係強化
（６１億円）

外交実施体制の強化

- 政策構想力の強化
- 危機管理体制、在外公館警備、情報収集能力の強化（７４億円）
- ＩＴ化の推進（１６７億円）
- 必要な機構・定員の要求、在外公館配置の見直し、人事制度の再構築

国民のニーズに沿った外交実施体制

- 広報・広聴体制の再構築　（１３億円）
- 領事サービスの改善・拡充　（３３億円）